

令和 6 年 6 月 27 日現在

機関番号：84301

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2021～2023

課題番号：21H03778

研究課題名（和文）博物館史資料アーカイブズを活用したメタ文化財情報構築の検討

研究課題名（英文）Analysis of the Construction of Cultural Properties Metadata Utilizing Archives of Museum Historical Materials

研究代表者

羽田 聡（Hada, Satoshi）

独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館・学芸部美術室・室長

研究者番号：30342968

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,400,000円

研究成果の概要（和文）：本件研究では、明治22年（1889）の設置以来、130年以上の歴史をもつ京都国立博物館において、明治時代から昭和時代にかけて作成された記録史料3000点超、すなわち「博物館史資料」のアーカイブズ情報を活用することを通じ、来歴や取り扱いなどの文化財に関わる情報をより豊かに共有して、これらの価値を再発見する資料分析を行うとともに、デジタルアーカイブの高度活用に資するため、文化財に関するあらゆる情報を包含した「メタ文化財情報」の構築手法を検討した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

「メタ文化財情報」の構築手法を検討するために、Amazon Lightsail（サーバ）へOmeka S（アプリ）を導入し、博物館史資料の「画像」と「メタデータ」を関連付けた。Amazon Lightsailは管理と構築の面で使いやすく、ランニングコストが安価であるため、デジタルアーカイブでの活用が期待されるOmeka Sを試験的に運用する環境を検討するうえで、今後の研究に資する。

また、デジタルアーカイブ学会において学会発表を行うことで研究及びその成果の意義を問うとともに、研究者以外の人々にも本研究の意義をわかりやすく説明するために、成果の一部を博物館における展示と講座で視覚的に紹介した。

研究成果の概要（英文）：This research investigated the utilization of archival information from the Kyoto National Museum, which has a history spanning over 130 years since its establishment in 1889. Specifically, through the examination of more than 3,000 historical records created from the Meiji (1868-1912) to Showa (1926-1989) period, referred to as “museum historical materials,” this study aimed to 1) both enrich and share data related cultural properties including their history, provenance, and treatment, thereby rediscovering the value of such information, and 2) contribute to the advanced application of digital archives through the analysis of methods of gathering comprehensive “cultural properties metadata” incorporating all information related to cultural properties.

研究分野：日本史学

キーワード：博物館史資料 資料分析 デジタルアーカイブ メタ文化財情報の構築

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

(1) 日本における多様な文化財は、博物館やデジタルアーカイブを通して、広く国民の目に触れるものとなっている。その背景には、博物館をはじめとする諸機関が資料を長く保管し、分析するという行為があり、さらにその前提として、文化財制作当時から様々な主体(組織・個人)が守り伝えてきたという伝来の経緯が存在している。こうした伝来や博物館による活動については、対象となる文化財の研究に基づくテキストで語られることが一般的である。これにより、文化財に触れる人々は、その歴史的な重みを理解し、文化的・歴史的・学術的価値を見出すのである。

(2) しかし、これらの情報について、デジタルアーカイブなどのデータや、基本的な資料目録を積極的に活用して記述されることは決して多くない。そして、前近代の伝来については意識して記述されることはあるものの、近代以降の情報が記述されることはまれである。さらに言えば、博物館に入ってから情報は絶無に等しい。日本において、博物館が社会の中で機能するようになって、優に100年を超える。つまり、文化財の伝来や歴史的変遷を理解するためには、それら「博物館時代」というべき時代も含めた資料の分析とデータ構築が必要になってきている。

2. 研究の目的

(1) 本研究では、大目的として「文化財に関する伝来の経緯を含めたメタデータ(メタ文化財情報)の構築手法について検討を行う」ことを目指し、中目的として「とりわけ近代における文化財の取り扱い方」に目を向け、小目的として「博物館におけるアーカイブズ(博物館史資料アーカイブズ)を活用したデータ化と分析」を設定し、ここからのメタデータモデル構築を行った。小目的の一つのモデルケースとすることで、大目的のメタデータのありようを検討するとともに、中目的の検討材料を提供することも可能となると考えたからである。

(2) これらのメタデータの公開と、研究成果を広く学界で共有することで、美術史学(伝来分析の材料をより豊かに提供)・文化財科学(資料形態の変遷を知ることで保存・修復の検討材料を得る)・日本近代史(近代日本の文化研究への貢献)・アーカイブズ学(博物館史資料アーカイブズそのものの分析)・デジタルアーカイブ(大目的そのものによる貢献と、デジタルアーカイブの価値向上)・人文情報学(メタデータ活用による文化財の情報学的研究への貢献)・博物館学(博物館内における文化財の取り扱いへの貢献)など、関連学問領域への波及も期待できる。

3. 研究の方法

(1) 本研究の具体的な材料としては、京都国立博物館(以下、「京博」という)が所蔵する博物館史資料アーカイブズを用いた。このアーカイブズは、明治22年(1889)の京博設立以来、120年分の行政記録が残されている。この中には、寄贈を受けた資料の情報や当時の皇太子(昭和天皇)の行啓記録、資料の預かり、講演録など多様な記録が存在している。これらの資料から、多くの文化財の博物館内外での来歴を知ることができる。また、展覧会の展示風景を撮影した写真や、展覧会会場で上映されていた映像資料なども、博物館における重要なアーカイブズとしてあげられる。展覧会に展示された文化財は、図録や目録等のテキストで確認できるが、写真や映像でなければ、どの場所(部屋)で、どの文化財と一緒に並んで、どのように展示されていたかといった情報は得ることができない。つまり、博物館時代における文化財の活用方法、取り扱い方を知る上でも極めて重要な情報を提供してくれる。これらのアーカイブズは3000点を超える量が残されているが、全体像が必ずしも把握できていない部分もあった。

(2) 本研究においては、現在ある文化財とのリンクをはかるべく、以下のステップにて研究を進めた。1. 全体像を把握するための目録化。2. アーカイブズのうち、文化財情報に関わる資料の抽出を行い、それらのデジタル化を実施。3. メタデータ構築の検討。4. デジタルアーカイブでの活用が期待されるアプリケーション「Omeka S」へのメタデータ登録。この4工程を進めつつ、どのような文化財とのリンクが可能か、どのような形でつながるのが望ましいのか、来歴の情報をどのように可視化できるのかなど、対面あるいはオンラインでの検討会により、研究分担者と意見交換を重ね、アーカイブズの内容について研究を進めた。

4. 研究成果

(1) 京博に蓄積された3000点を超える博物館史資料について、整理とデータ入力を行った。これにより、館史資料全体の分量について把握することができた(図1 データ入力された館史資料)。本研究における資料整理の結果、職員ならびに博物館関係者からのレファレンス対応に資することができた。以下、そのうちの数件を列挙する。

当館の多言語対応を通じ、中国文物交流センターより1973年に京都国立博物館で開催された「中華人民共和国出土文物展」(1973年~1978年の間、世界各国を巡回)に関する資料がないか

問い合わせがあった。資料整理の過程で発見したフィルム資料の中から、当該展覧会の写真を発見し、情報を提供した。

当館職員より、2023年6月24日開催土曜講座「京都国立博物館の講座100年を振り返る 大正13年から令和5年まで」関連で、恩賜京都博物館以前の講演会録について問い合わせがあったため、資料整理の過程で発見した大正十三年からの講演会録を案内した。

当館の画像利用窓口を通じ、2000年に開催した特別展「没後200年 若冲」の展覧会写真について外部より問い合わせがあり、展覧会風景ならびにシンポジウムの写真を案内した。

| 記述レベル | タイトル | 頁数 |
|--------|---------------------------------|----|
| Item | 美術工芸部藏品基帳(列品) | 1冊 |
| Item | | 1冊 |
| Item | 控 明治三十年 [美術工芸部/工芸部] 出品基帳 官衙部 | 1冊 |
| Item | 控 明治三十年 [美術工芸部/工芸部] 出品基帳 官衙之部 | 1冊 |
| Item | 明治三十年至三十二年 第一期 [美術工芸部/工芸部]寄託品基帳 | 1冊 |
| Item | 美術部 寄託品基帳(控) | 1冊 |
| Item | 明治三十年 工芸部 出品基帳 社寺寄託 | 1冊 |
| Item | 控 明治三十年 美術工芸部 [甲/種]出品基帳 個人之部 | 1冊 |
| Item | | 1冊 |
| Item | 控 明治三十年 工芸部 [乙/種]出品基帳 個人之部 | 1冊 |
| Item | 控 明治三十年 美術工芸部 [乙/種]出品基帳 個人之部 | 1冊 |
| series | | |
| Item | 宝物取調目録 | 1冊 |
| Item | 昭和二十二年度 重要往復 | 1冊 |
| Item | [書籍一括] | 1件 |
| Item | ロダレ像一件 | 1件 |
| Item | 明治四十年一月以降 個人物品調査綴込 美術部 | 1冊 |
| Item | 甲第一 宝物取調目録 | 1冊 |
| Item | 甲第二 宝物取調目録 | 1冊 |
| Item | 乙第一 宝物取調目録 | 1冊 |
| series | 昭和十一年 夏季講演會録 | 1冊 |
| Item | 宝物取調目録 | 1冊 |
| Item | 宝物取調目録 | 1冊 |
| Item | 宝物取調目録 | 1冊 |
| Item | 宝物取調目録 | 1冊 |
| Item | 滋賀縣 宝物取調目録 丙號 | 1冊 |
| Item | 管内丹後州中 [神社/寺院] 什纂取調書 | 1冊 |
| Item | 新國宝展 | 1件 |
| Item | | 1冊 |

図1 データ入力された館史資料

(2) 博物館史資料のデジタル化とデータの関連付けを行った。文化財に関する情報を含む館史資料を「画像」としてデジタル化するとともに、そのうち1点を文書レベルまで細分化して「メタデータ」を抽出した(図2 館史資料から抽出したメタデータの一部)。

| 仮文書標題 | 仮文書年代(上限) | 仮文書年代(下限) | 仮文書年代注記(上限) | 仮文書年代注記(下限) | 注記1 | 注記2 |
|--------------------------------|------------|------------|--------------|-------------|---------------|---------|
| 館内回覧(撮影作品目録) 一四号/第八八號 | 1902-01-09 | 1902-01-29 | 明治三十五年一月九日 | 明治卅五年一月廿九日 | | 作品リストあり |
| 館内回(京都府へ回答案) 一四号/第十二號/第八八號 | 1902-01-08 | | 明治卅五年一月八日 | | | |
| 依頼書(京都府→京都帝室博物館) 寅収一甲 第六号/第八八號 | 1902-01-07 | 1902-01-08 | 明治三十五年一月七日 | 明治三十五年一月八日 | 受付印が親しと重なっている | |
| 館内回覧(承諾書) 一四号/第八八號 | 1902-05-21 | | 明治卅五年五月廿一日 | | | |
| 館内回覧(承諾書) 壹号/第八八號 | 1902-03-28 | | 明治三十五年三月二十八日 | | | |
| 送付書(京都府→京都帝室博物館) 第一三三號/寅發一乙 | 1902-03-17 | 1902-03-18 | 明治三十五年三月十七日 | 明治卅五年三月十八日 | 受付 | |
| 承諾書(東福寺執事→京都府内務部) 第一三三號/内/寅發 | 1902-01-08 | 1902-03-18 | 明治三十五年一月八日 | 明治卅五年三月十八日 | 受付 | 作品リストあり |
| 承諾書(矢田寺住職西尾龍道→京都府) 第一三三號/内/寅發 | 1902-01-08 | 1902-03-18 | 明治三十五年一月八日 | 明治卅五年三月十八日 | 受付 | 作品リストあり |
| 承諾書(教王護国寺執事松永昇道→京都府内務部) 第一三三 | 1902-01-08 | 1902-03-18 | 明治三十五年一月八日 | 明治卅五年三月十八日 | 受付 | 作品リストあり |
| 承諾書(東福寺執事→京都府内務部) 第一三三號/内/寅發 | 1902-01-08 | 1902-03-18 | 明治三十五年一月八日 | 明治卅五年三月十八日 | 受付 | 作品リストあり |
| 承諾書(六波羅蜜寺住職川崎弁龍→京都府内務部第三課) 第 | 1902-01-08 | 1902-03-18 | 明治三十五年一月八日 | 明治卅五年三月十八日 | 受付 | 作品リストあり |
| 承諾書(醍醐寺住職和氣宥雄→京都府) 第一三三號/寅發一 | 1902-01-08 | 1902-03-18 | 明治三十五年一月八日 | 明治卅五年三月十八日 | 受付 | 作品リストあり |
| 承諾書(神護寺住職中僧正董原寂照→京都府内務部社寺掛) 第 | 1902-01-15 | 1902-03-18 | 明治三十五年一月十五日 | 明治卅五年三月十八日 | 受付 | 作品リストあり |

図2 館史資料から抽出したメタデータの一部

(3) メタ文化財情報として採取する項目を検討するとともに、デジタルアーカイブ構築の先行事例を収集、Omeka S を用いたデジタルアーカイブの構築を検証した。具体的には、Amazon Lightsail (サーバ) へ Omeka S を導入し、(2)の成果である館史資料の「画像」と「メタデータ」を関連付けた(図3 Omeka S にデータを登録した状態)。Amazon Lightsail は管理と構築の面で使いやすく、ランニングコストが安価であるため、これを用いた本研究は、デジタルアーカイブでの活用が期待される Omeka S を試験的に運用する環境を検討するうえで、今後の研究に資する。

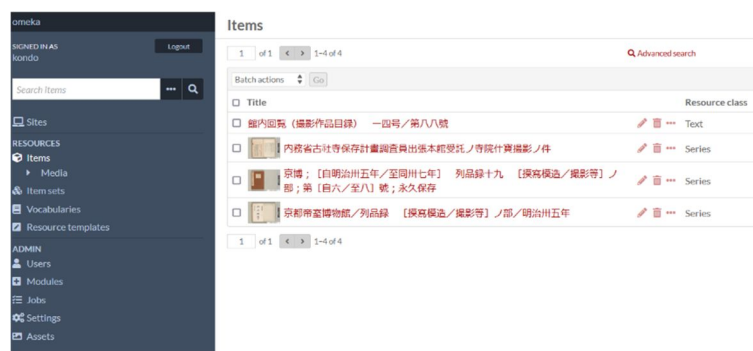


図3 Omeka S にデータを登録した状態

(4) 研究者に向けた本研究の成果公表として、データ入力を担当する事務局と研究分担者とともに、デジタルアーカイブ学会第7回研究大会(オンライン、2022年11月12日)において、「京都国立博物館における記録資料の整理と課題 メタ文化財情報アーカイブ構築に向けて」と題し、現状の報告と課題について発表を行った。

(5)一般向けの研究成果の公表として、京博の土曜講座(2022年2月19日)にて、「本法寺所蔵「古文書貼交屏風」について」と題する講演を行うとともに、同館の名品ギャラリー「京博130年の語り部」(2024年2月6日~3月17日)において館史資料の一部を展示し、視覚的に紹介した(図4 展示風景)。

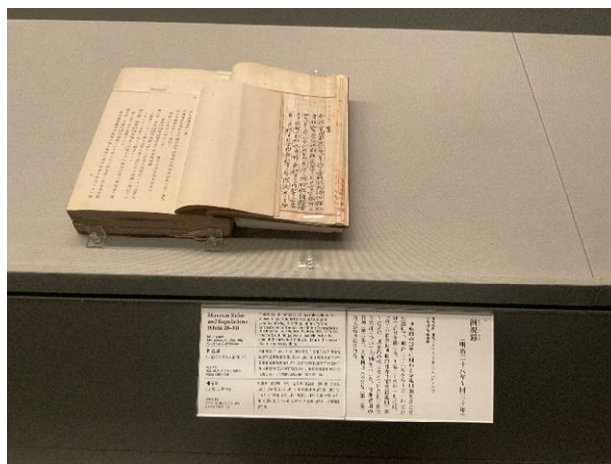


図4 展示風景

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計6件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 羽田 聡 | 4. 巻 50 |
| 2. 論文標題 中世の高僧伝絵の作画工房について | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 公益財団法人仏教美術研究上野財団研究報告書 | 6. 最初と最後の頁 s41-s54 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 亀田 堯宙、後藤 真 | 4. 巻 Vol165 No.2 |
| 2. 論文標題 地域歴史資料Linked Dataのための情報基盤構築 | 5. 発行年 2024年 |
| 3. 雑誌名 情報処理学会論文誌 | 6. 最初と最後の頁 s292-s304 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 後藤 真 | 4. 巻 50 |
| 2. 論文標題 デジタルとウェブがひらくパブリックヒストリー | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 世界思想 | 6. 最初と最後の頁 s90-s94 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 西村 由希子, 羽田 聡, 三島 貴雄, 近藤 無滴, 後藤 真 | 4. 巻 6巻 s3号 |
| 2. 論文標題 京都国立博物館における記録資料の整理と課題 メタ文化財情報アーカイブズ構築に向けて | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 デジタルアーカイブ学会誌 | 6. 最初と最後の頁 s119-s122 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.24506/jsda.6.s3_s119 | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 羽田 聡 | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 金地院所蔵 国宝「秋景冬景山水図」の附属書状について | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 (展覧会図録) 京に生きる文化 茶の湯 | 6. 最初と最後の頁 s282-s286 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 田良島 哲 | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 文化政策としてのデジタルアーカイブ | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 デジタルアーカイブ・ベーシックス 知識インフラの再設計 | 6. 最初と最後の頁 s54-s74 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計9件 (うち招待講演 2件 / うち国際学会 2件)

| |
|---|
| 1. 発表者名 羽田 聡 |
| 2. 発表標題 中世の高僧伝絵の作画工房について |
| 3. 学会等名 公益財団法人仏教美術研究上野財団主催「研究発表と座談会」 |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 後藤 真 |
| 2. 発表標題 Overall Trends of Digital Humanities and Digital Archives in Japan: Focusing on New Data Introduction |
| 3. 学会等名 2023年 欧州日本資料協議会 (EAJRS) 大会 (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 後藤 真 |
| 2. 発表標題 Digital Technology use for Cultural Resources in Japan Digitalarchives and Digital Humanities |
| 3. 学会等名 パンドン工科大学との連携による学生WS (国際学会) |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 後藤 真 |
| 2. 発表標題 博物館のデジタル化のあり方を考えるDA・DX・DH |
| 3. 学会等名 JMAコミュニケーション・マネージメント研究部会2023年度第1回研究会 |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 後藤 真 |
| 2. 発表標題 国立歴史民俗博物館における写真データ構築とその利活用・課題 |
| 3. 学会等名 韓国国立民俗博物館・国立歴史民俗博物館合同WS |
| 4. 発表年 2024年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 後藤 真 |
| 2. 発表標題 人文・歴史資料のデータ化と共有とその課題 |
| 3. 学会等名 科学データ研究会・WDS国内シンポジウム(第11回)合同研究会(招待講演) |
| 4. 発表年 2024年 |

| |
|------------------------------|
| 1. 発表者名 羽田 聡、近藤 無滴 |
| 2. 発表標題 京博130年の語り部 |
| 3. 学会等名 京国立博物館名品ギャラリー（展示） |
| 4. 発表年 2024年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 西村 由希子, 羽田 聡, 三島 貴雄, 近藤 無滴, 後藤 真 |
| 2. 発表標題 京都国立博物館における記録資料の整理と課題 メタ文化財情報アーカイブズ構築に向けて |
| 3. 学会等名 デジタルアーカイブ学会 |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|-------------------------------|
| 1. 発表者名 羽田 聡 |
| 2. 発表標題 本法寺所蔵「古文書貼交屏風」について |
| 3. 学会等名 京都国立博物館土曜講座 |
| 4. 発表年 2022年 |

〔図書〕 計1件

| | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 橋本 政宣、羽田 聡、他22名 | 4. 発行年 2024年 |
| 2. 出版社 宮帯出版社 | 5. 総ページ数 645 |
| 3. 書名 後陽成天皇 | |

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|-------|--|--|----|
| 研究分担者 | 近藤 無滴 (Kondo Muteki) (60882454) | 独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館・学芸部列品管理室・研究員 (84301) | |
| 研究分担者 | 三島 貴雄 (Mishima Takao) (30817367) | 独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館・その他部局等・専門職員 (84301) | |
| 研究分担者 | 後藤 真 (Goto Makoto) (90507138) | 国立歴史民俗博物館・大学共同利用機関等の部局等・准教授 (62501) | |
| 研究分担者 | 田良島 哲 (Tarashima Satoshi) (60370996) | 独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館・学芸企画部・研究員 (82619) | |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|
| | |